

平成16年度事業報告

平成16年度加盟チーム登録数

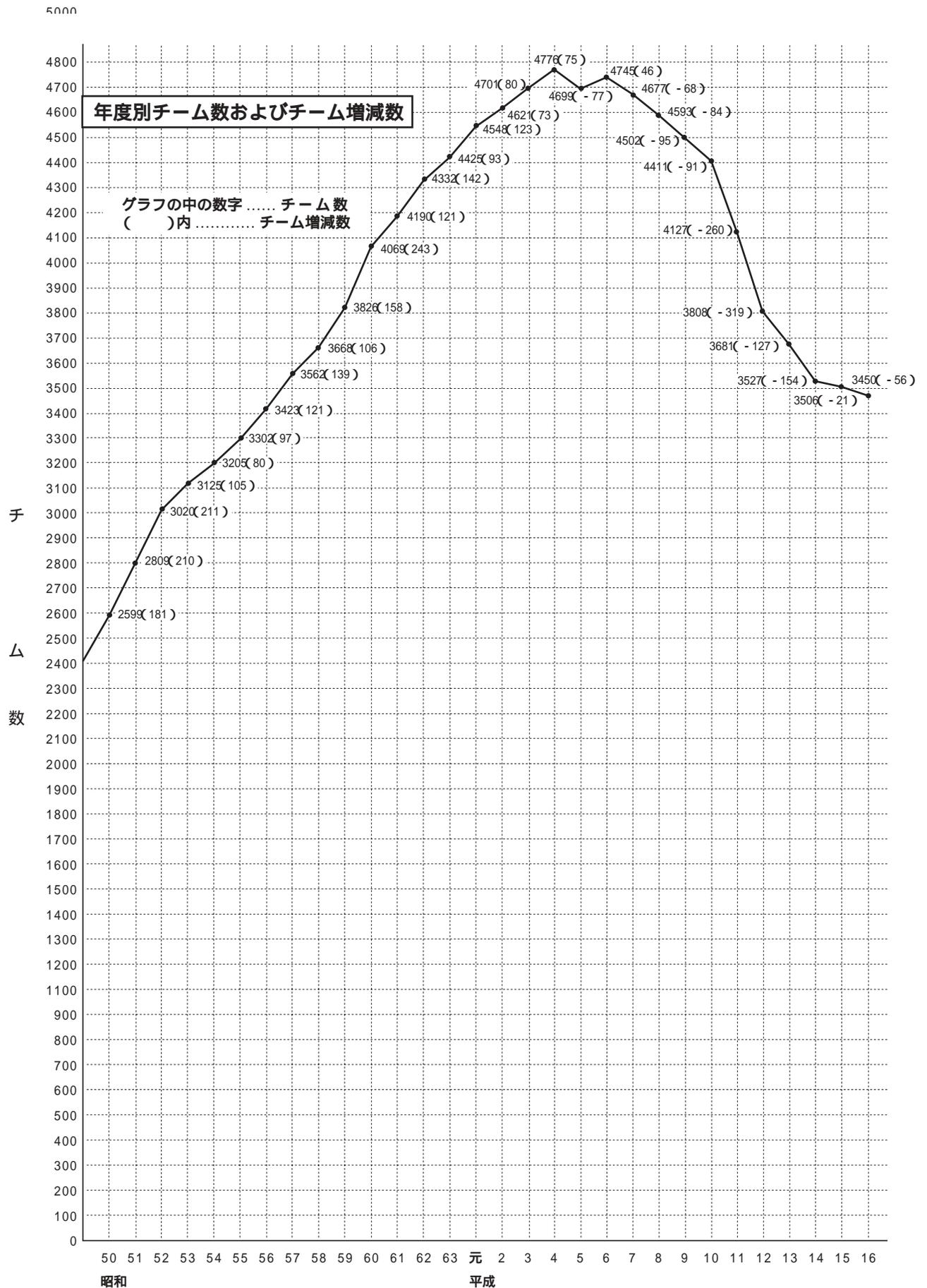
1. チーム数

計 3,450 チーム(R S は含まれない)
 (前年度 3,506 チーム、前年度より 56 チーム減)
 R・S を含む合計チーム数 : 3,837

地域 チーム数 区分	関 東		関 西		九 州		合 計	
	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減	チーム数	前年よりの増減
中 学	90	+ 1	166	+ 21	51	+ 9	307	+ 31
高 校	539	- 7	499	- 1	183	+ 1	1,221	- 7
高 専	12	- 1	25	- 1	8	0	45	- 2
大 学	179	+ 1	148	0	39	- 1	366	0
社 会 人	222	- 15	117	- 10	56	- 4	395	- 29
ク ラ ブ	545	- 42	450	- 15	121	+ 8	1,116	- 49
小 計	1,587	- 63	1,405	- 6	458	+ 13	3,450	- 56
ラグビー スクビル	152	+ 11	172	+ 2	63	- 1	387	+ 12
合 計	1,739	- 52	1,577	- 4	521	+ 12	3,837	- 44

2. 競技者・登録数

地域 登録数 区分	関 東		関 西		九 州		合 計	
	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減	登録数	前年よりの増減
中 学	2,665	+ 281	4,249	- 141	1,009	+ 55	7,923	+ 195
高 校	15,414	- 164	13,512	- 153	5,794	- 217	34,720	- 534
高 専	317	- 40	721	+ 21	252	- 12	1,290	- 31
大 学	6,507	+ 150	5,077	+ 48	1,111	- 38	12,695	+ 160
社 会 人	5,600	+ 10	3,620	- 274	1,866	- 200	11,086	- 464
ク ラ ブ	15,977	- 370	12,387	- 611	4,261	+ 116	32,625	- 865
小 計	46,480	- 133	39,566	- 1,110	14,293	- 296	100,339	- 1,539
ラグビー スクビル	10,485	+ 848	10,687	+ 587	3,881	- 12	25,053	+ 1,423
合 計	56,965	+ 715	50,253	- 523	18,174	- 308	125,392	- 116



平成 16 年度事業報告

日本協会のビジョンである「ラグビー競技を誰からも愛され、親しまれ、楽しめる、人気の高いスポーツにする」ことの実現を目指して、各関係方面のご協力と連携強化を図り、試合開催および各事業を実施した。

国内大会・試合

- 第46回 Y C & A C セブンズ
4月4日:(横浜 Y C & A C)
カップトーナメント優勝:トヨタ自動車
- 第5回全国高校選抜大会
4月1日~7日:熊谷ラグビー場
優勝:天理高
- ジャパンセブンズ高校の部
4月10日:江戸川陸上競技場
カップトーナメント優勝:近畿選抜
- ジャパンラグビートップリーグ04-05
リーグ戦(1節~12節・66試合)
9月18日~平成17年1月10日
開催地:札幌・東京・宮城・埼玉・千葉・神奈川・山梨・栃木・茨城・群馬・新潟・静岡・愛知・大阪・兵庫・福岡・熊本
優勝:東芝府中
8トーナメント戦 7試合
1回戦・準決勝 平成17年1月23・30日
:秩父宮ラグビー場・花園ラグビー場
決勝:平成17年2月6日:秩父宮ラグビー場
優勝:東芝府中
- 第59回国民体育大会
10月24日~28日:熊谷ラグビー場
優勝:成年男子・少年男子とも埼玉県
- 第17回女子ラグビー交流大会
11月23日:江戸川陸上競技場
女子17チームが参加
- 第41回全国大学選手権大会
12月19日~平成17年1月9日
(東京・熊谷・名古屋・大阪・福岡)
準決勝:平成17年1月2日:国立競技場
決勝:平成17年1月9日:国立競技場
優勝:早稲田大学(2年ぶり12回目)
- 第84回全国高等学校大会
12月27日~平成17年1月7日:花園ラグビー場
優勝:啓光学園(4年連続6回目)
- 第12回全国クラブ大会
平成17年1月8日~10日:熊谷ラグビー場
決勝:平成17年1月30日:秩父宮ラグビー場
優勝:タマリパクラブ(2年連続3回目)
- 第55回全国地区対抗大学大会
平成17年1月2日~6日:瑞穂ラグビー場
優勝:武蔵工大(2年ぶり6回目)
- 第35回全国高等専門学校大会
平成17年1月4日~9日:神戸運動公園
優勝:神戸市立高専(2年連続4回目)
- 第28回全国高等学校東西対抗試合
平成17年1月9日:国立競技場
東軍 22 - 45 西軍
- 第59回東西学生対抗試合
(第1回全国大学オールスターゲームズ)
平成17年1月16日:秩父宮ラグビー場
東軍 45 - 17 西軍
- 第42回日本選手権
平成17年2月5日~27日
:秩父宮ラグビー場・花園ラグビー場
優勝:NEC
- 三地域協会代表対抗試合
平成17年2月19日:花園ラグビー場
関西代表 19 - 29 九州代表
平成17年2月27日:秩父宮ラグビー場
関東代表 71 - 15 関西代表
平成17年3月6日:大分スタジアム
九州代表 22 - 40 関東代表
- 第10回ジュニア・ラグビー交流競技大会
平成17年1月4日~6日:花園ラグビー場
- ジャパントップリーグ入替戦
平成17年2月13日
リコー 42 - 7 豊田自動織機
:秩父宮ラグビー場
ワールド 49 - 0 ホンダ
:花園ラグビー場
リコー・ワールドがトップリーグに残留
- 第54回朝日招待ラグビー
平成17年3月13日:博多の森競技場
早大 45 - 24 九州代表
- 第1回全国小学生タグ・ラグビー選手権大会
平成17年3月5日~6日:秩父宮ラグビー場
全国参加493チーム頂点に立ったのは、女子中心の汐入小ホワイトベアーズ(横浜)がカップトーナメントを制した

国際大会・試合

- 2004 I R B セブンズ大会
4月3日・4日:シンガポール大会
ボウルトーナメント
日本 17 - 22 カナダ(日本準決勝敗退)
- U19世界選手権(12チーム参加)
3月27日~4月12日:南ア・ダーバン
日本はコットランドに勝ち、過去最高7位獲得
- 日本A代表・ニュージーランド遠征
4月18日~5月2日
第1戦 日本 17 - 51 カンタベリー地区代表
第2戦 日本 62 - 26 南島大学選抜
第3戦 日本 12 - 99 NZ学生代表

4. サニックス・ワールドラグビピユース
交流大会
4月29日～5月5日：福岡グロ - バルアリーナ
1位 ニュージーランド（2年連続2回目）
2位 東福岡高・3位 南アフリカ 以下・
豪州・サモア・アイルランド・佐賀工・スコ
ットランド・啓光学園・大阪工大高・伏見工・
西陵商・大分舞鶴高・フランス・江の川高・
韓国
5. アジア3カ国対抗（兼）2007RWC予選リーグ
5月9日
日本代表A 62 - 9 中華台北代表：台南
5月16日
日本代表A 19 - 19 韓国代表
：秩父宮ラグビー場
5月23日
韓国代表対中華台北代表：韓国
6. 第6回日韓定期戦：秩父宮ラグビー場
5月16日 日本代表A 19 - 19 韓国代表
7. スーパーパワーズカップ大会
5月27日1回戦 2試合
：国立競技場・ナイター
アメリカ代表 20 - 23 カナダ代表
日本代表 29 - 12 ロシア代表
5月30日：秩父宮ラグビー場
3位決定戦
アメリカ代表 41 - 11 ロシア代表
決勝戦
日本代表 34 - 21 カナダ代表
8. イタリア代表来日
6月30日 第1戦：長居陸上競技場
日本選抜 5 - 22 イタリア代表
7月4日 第2戦：秩父宮ラグビー場
日本代表 19 - 32 イタリア代表
9. 高校日本代表ニュージーランド遠征
7月22日～8月4日
25日：第1戦
日 本 30 - 7 ノースランド選抜
29日：第2戦
日 本 3 - 38 ノースハーバー選抜
8月4日：第3戦
日 本 7 - 96 NZ高校代表
10. 第12回日・韓・中 ジュニア交流競技大会
8月23日～29日：（中国・長南）・天理高参加
天理高 全勝
11. セブンズRWCアジア地区予選 12カ国出場
9月10日～12日：スリランカ
優 勝 日本代表 38 - 19 中華台北代表
第4回W杯への出場決定 平成17年3月香港
12. 日英学生対抗・オックスフォード大学来日
9月11日
関東学院大 17 - 52 オックスフォード大
：秩父宮ラグビー場
9月15日
同志社大 22 - 43 オックスフォード大
：西京極陸上競技場
9月20日
早 大 25 - 9 オックスフォード大
：秩父宮ラグビー場
13. アジアラグビー大会
10月28日 日本代表 40 - 12 香港 : 香港
10月31日 日本代表 23 - 0 韓国 : 韓国
14. 日本代表欧州遠征
第1戦 11月13日：バース
日本代表 8 - 100 スコットランド
第2戦 11月20日：ルーマニア
日本代表 10 - 25 ルーマニア
第3戦 11月27日：カーディフ
日本代表 0 - 98 ウェールズ
15. 女子日本代表 ヨーロッパ遠征
第1戦 11月6日
日本代表 7 - 17 オランダ
：アムステルダム
第2戦 11月14日
日本代表 0 - 55 アイルランド
：ダブリン
16. U - 19アジア大会
12月11日～18日：中国・昆明
17. ダーウィンセブン
平成17年1月23日：豪州・ターウィン
準決勝 日本代表 7 - 24 East Tmor Bsrb
18. I R B・ウェリントンセブンズ：NZ
平成17年2月4日
19. ラグビーW杯セブンズ2005：香港
平成17年3月19日
プレートトーナメント
日本代表 5 - 29 ロシア代表

（財）日本体育協会関係

日本体育協会の事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力した。

1. 国民スポーツの普及・振興に関する事業
国民スポーツ振興の推進と体制強化
スポーツ指導者養成事業の推進
スポーツ少年団の充実
生涯スポーツの推進
国際交流事業等の実施
国民体育大会の開催とブロック大会への助成等
スポーツ医・科学研究の推進
スポーツコーチサミットの開催
広報活動の充実

スポーツ情報システムの充実
子どもの体力向上推進事業
関連事業の推進

2. 財政の確立
3. 第59回埼玉国体への参加した。
 - ・成年男子 12チーム 監督・選手 264名
 - ・少年男子 18チーム 監督・選手 384名
4. 評議員会へ出席した
5. 国体運営専門部会へ出席した

(財)日本オリンピック委員会関係

JOCの事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力した。

- ・選手を育成・強化する事業
 - ・強化合宿事業
 - ・アンチ・ドーピング活動推進事業
 - ・オリンピックムーブメントを推進する事業
1. 次の事業に助成を申請
 - ・日本代表夏季強化合宿
 2. 評議員会・総務委員会への参加

(独)日本スポーツ振興センター関係

1. 日本スポーツ振興センターの事業計画は次の通りであり、当協会はこれに協力した。

スポーツ施設の運営・提供に関する事項

- ・大規模スポーツ施設における稼働日数の確保
国立競技場・秩父宮ラグビー場
- ・スポーツ施設利用者の利便性の向上
- ・スポーツ施設の活用の促進

国際競技力向上のための研究・支援事業

- ・一体的な事業の実施
- ・連携による競技力向上プロジェクトチーム型
研究・総合的支援活動の実施

研究成果および収集情報の提供

スポーツ振興のための助成に関する事項

- ・効果的な助成の実施
 - ・助成申請者の利便性の向上
 - ・スポーツ振興助成のための安定的な財源の確保
- スポーツ及び児童生徒等も健康の保持増進に関する調査研究並びに資料の収集及び提供等に関する事項

関係団体等との連携

その他業務運営に関する事項

- ・危機管理体制等の整備
災害時等緊急時に即応可能な体制整備を行うとともに、予防点検や予防訓練を実施し、防災対策を推進するなど危機管理の維持・充実に努める。

施設及び執務環境の整備

- ・スポーツ施設の保守・改修

2. 次の事業に助成を申請した。
 - ・アンチドーピング事業

・トップリーグ活性化事業

3. スポーツ振興くじの売上促進を検討した。
4. 運営委員会への参加した。

各委員会関係

1. 総務委員会

次の事業を実施した。

1. 事務局運営・業務の効率化検討・実施
2. 行政・大使館等に関する諸事項の実施
3. 国際試合の円滑な運営計画の作成と実施
4. 地域協会との連携・強化に関する事項の推進
5. ジャパンクラブ・電光表示装置・練習グラウンド等
効率的な活用。
6. 人工芝基準の検討・理事会への答申
7. 委員会に属さない事業の調整および実施
8. 町井会長のお別れ会を行った
11月2日 秩父宮ラグビー場 参列者410人
9. 新潟県中越災害義援金募集活動を行った。
新潟県へ4,246,760円寄附
10. インド洋津波災害義援金募集活動を行った。
世界食糧機構へ2,000,000円寄附
11. スポーツ拠点づくり推進事業の申請した。
熊谷市と連携して全国高校選抜大会を申請し承認された。平成17年度から助成される。

2. 法務委員会

次の業務を実施した。

1. 実施内容
 - ・ワールドカップに関連する契約書のチェック
 - ・協賛契約に基づく紛争に関して、契約書の内容指導した。
 - ・肖像権に関する内容指導した。
2. 活動内容
 - ・実際の委員会は開かず、メールを中心とした意見集約のみ実施した。
3. 改善点
 - ・契約内容を確認する日数が短い 各種契約書の早期締結活動行うよう指導した。
 - ・契約条文の検討 特に長期間関わる契約について、指導した。
 - ・契約等に関する事項は委員会確認を徹底を図る。

3. 財務委員会

次の業務を実施した。

委員会開催10回
課題事項の討議、提言の取りまとめ等を行うとともに、平成17年度の予算編成に当たって各委員会の事業計画等についてヒヤリングを行い、調整・取りまとめを行った。

具体的な実施事項は次のとおり。

1. 平成15年度決算および資金状況の把握
収支の対予算「15年度決算概況」、および「15年度予算執行上の問題点」についてとりまとめ、7月執行理事会報告した。
2. 予算執行・収支管理の徹底
前年度に引き続き、稟議書、支払依頼書などの予算執行手続きの適正化を推進した。
収支管理については、月次実績をフォローするとともに、年度予算を月次展開した上での実績との対比を課題としてきたが、事務負荷が大きいため、実施に至らなかった。代替として年度前半での予実対比にもとづき、年度後半の収支見通しの作成を行った。
3. 監査法人からの監査過程・改善等意見書を入手した。
4. 税務調査への対応
9月から実施された麻布税務署による税務調査を契機に、当協会としての税務問題についての対応方針について協議した。
5. 予算外案件への対応
W杯招致準備委員会の発足、強化委員会やレフリー委員会におけるの活動追加等の15年度予算外の案件について、ヒヤリングの上、会計上の取り扱い等について助言を行った。
6. 平成17年度の予算編成への対応
各委員会から提出された原案についてのヒヤリングを実施し、平成16年度の収支実績見通しをふまえて、17年度の収入見通し、財源の重点配分等について、整案の作成等を行った。
また、予算編成過程で抽出された協会の業務運営上で留意すべき課題事項について文書をとりまとめ、会長代行、専務理事に報告した。
7. 会長代行・専務理事への報告
予算編成過程で抽出された協会業務運営上の留意すべき課題事項について文書をまとめて報告した。

4. 広報委員会

次の事業を実施した。

<事業方針>

ラグビー関係者、選手、ファンなどラグビーに関わる全ての人々と円滑な関係を構築し、ラグビーの普及振興とその健全な発達を図る。

<事業活動全般>

トップリーグ、全国大学選手権、マイクロソフトカップ、日本選手権など協会に主催する大会を通じ事業の展開を図った。

強化委員会との連携により各世代(各カテゴリー)の日本代表を軸に事業の展開を図った。

各委員会との連携を密にして事業の展開を図った。

費用対効果を考慮して事業の展開を図った。

<実施項目>

1. メディアリレーションズ

- ・パブリシティ業務全般
 - ・記者発表の企画・運営
 - ・報道用資料の作成・リリース
 - ・個別インタビューのアレンジ
2. カスタマーリレーションズ(顧客向け業務全般)
 - ・ファン拡大、観客増に向けた取り組み
 - ・各種イベント運営
 3. コミュニティリレーションズ(地域交流業務全般)
 - ・地域・公的機関への協力
 - ・自治体活動への参加協力支援
 4. サイバーリレーションズ
 - ・ITベースのPR業務全般
 - ・ホームページ運営管理・メンテナンス
 - ・各種デジタルコンテンツの開発
 5. インナーリレーションズ 関係者業務全般
 - ・各委員会との連携
 - ・地域協会など諸団体とのリレーション活動
 - ・機関誌発行
 6. リスクマネジメント 危機管理業務全般
 - ・危機管理予防策 初期対応
 - ・マニュアル作成・重症事故対策

<具体的活動計画>

1. 機関誌
 - ・誌面の充実により新規購読者数の増加を目指した。
2. イベント
 - ・広くラグビーを普及させるためのイベントをNHKとの共催により開催した。
 - ・共催者との連携により費用の削減を図った。
3. ホームページ リアルタイムな情報を提供した。
 - ・情報量を増加させた。
 - ・危機管理を徹底した。
 - ・個人情報管理の徹底を図った。
 - ・アクセス量の増大に伴うお客様満足度に多くの課題を次年度に残した。
4. 記録管理
 - ・昨年度実施してきたインターネットによる業務の充実化をさらに推進した。
 - ・一部の試合記録情報をデジタル化してデータベースとして活用できるものにした。
 - ・地域協会との連携を密にした。
 - ・記録管理をする試合の範囲を拡大した。
 - ・日本協会主催試合の全記録の保存が未整備であり、次年度の課題となった。
5. 文化伝承活動
 - ・継続して散逸または整理のできていない資料の整理を行っている。
6. メディア対応
 - ・記者会見を実施した。
 - ・プレスリリースをタイミングよく配布した。
 - ・ワールドカップ招致に向けた活動に協力したが、

連携に課題を残した。

- ・報道用スペース、機器などの充実は図れなかった。

7. 各種出版

- ・「ゆず」の日本ラグビー応援ソング「威風堂々」を作成するとともに、CDを販売した。
- ・新規及び従来発刊した出版物の次年度発行を検討した。
- ・ラグビー関連の出版物の整理を継続して行った。

8. 強化広報

緊密な関係を作り、ニュースの価値を高め、広報に努めた。

9. プログラム

作成については、事業委員会と連携して行った。

5. ルール委員会

次の事業を実施した。

1. 5月 IRB改正ルールの翻訳・当年度詳細内容についてIRBへ確認・邦文競技規則の書き換え高専・高校以下のための特別競技規則の存廃に関して理事会上程原案作成・改正ルールの内容につき協会機関誌及びホームページ等で解説。
2. 6月 日英対照による、競技規則全般の見直し問題点につき、IRBへ問い合わせ確認した。IRB理事国からのルール改正提案集に対する日本協会としての見解集約し回答した。
 - ・2004IRBルーリングに関して、詳細の確認翻訳、周知徹底
3. 8月 平成16年度日本協会競技規則発刊
4. 9月～10月 新ルールの適正な運用のため関連委員会と調整、促進した。
5. 11月 2004IRBルーリング追加分に関して、詳細の確認、翻訳、周知徹底した。
6. 12月 IRB改正ルールの翻訳・詳細内容について最終確認・邦文競技規則の書き換え
 - ・改正ルールの内容につき協会機関誌及びホームページ等で解説。
7. 平成17年2月
 - ・IRB理事国からのルール改正提案集に対する日本協会としての見解集約、回答した。
 - ・ルールの運用並びにレフリングとの一貫性に関して関連委員会と確認調整した。

6. レフリー委員会

次の事業を実施した。

1. 委員会開催

レフリー委員会 総務会を7回(4月2回・7月、9月・10月・1月・2月、)開催した。レフリーの育成および運営について討議し、立案した。
レフリー委員会 運営委員会3回(7月、10月、11月)開催した。

平成16年度シーズンのレフリーおよびTJの割り付け全国大会レフリーおよびTJ割付レフリー評価の中間報告等を討議し、立案した。

レフリー委員会を2回(5月、3月)開催した。5月は「本年度の事業計画」等を、3月は16年度の反省・17年度の事業計画案、予算案、17年度レフリーランク案等を討議した。

アジア協会レフリー委員長会議が10月30日香港で開催され、阿世賀委員長が出席した。

2. 研修会の開催

三地域別に平成16年度ルール伝達講習会を開催した。

- ・関東地区：8月13日、小畔、大倉両委員出席、関東支部各委員長出席
- ・関西地区：8月13日、阿世賀委員長出席、関西支部各委員長出席
- ・九州地区：6月19日、阿世賀委員長、小畔委員出席、九州支部各委員長出席

サニックスユース大会レフリー研修会

宮原委員出席

7月3日・4日

トップチームコーチ会議に大倉委員出席

7月17日

セカンドトップコーチ会議に阿世賀委員長出席
三地域別

トップレフリー・レフリーコーチ合同研修会を実施。

- ・関東地区：7月18日 秩父宮会議室
- ・関西地区：7月24日 関西協会会議室
- ・九州協会：7月31日 九州協会会議室

日本協会トップレフリー実技研修会を8月北海道で実施した。

三地域トップレフリー研修会を8月20日～23日に菅平で実施した。

受講生43名・講師16名。

9月5日「チーム13」シーズンにむけての研修会を実施した。

11月13日・14日「チーム13」研修会を実施。14日はトップリーグのコーチと合同研修を行った。12月26日～30日 A2レフリー研修を全国高校大会開催に併せて実施した。

平成17年2月28日・27日「チーム13」シーズン総括研修の実施した。

平成17年3月19日トップレフリー反省会を実施した。

3. 海外からのレフリー招聘

5月16日アジア3カ国：秩父宮ラグビー場

台湾：レフリー チョウ・ウエン・ラン

韓国：TJ チーム帯同

6月27日・30日スーパーパワーズカップ

：秩父宮ラグビー場

アメリカ：レフリー A・クランプ

- カナダ：レフリー B・ククリンスキー
アセッサー：ミック・キーオ氏
7月4日日本対イタリア：秩父宮ラグビー場
レフリー・NZ：K・ディーカー・TJ・Lブレイ・
D・TJボーデン・アセッサー・コリン・ハイ
トップリーグへのレフリーの招聘
NZ：リンドン・ブレイ
12月4日 三洋電機対東芝府中・12月11日
NEC 対 神戸製鋼の2ゲームを担当した。
4. 海外派遣レフリー
3月21日～4月14日 南アフリカ U19
レフリー：原田隆司
4月22日～5月9日オーストラリア日本IBM
帯 同；レフリー：平林泰三
5月9日 台湾 WCアジア予選
日本対台湾 TJ：藤 実
5月9日 香港 WCアジア予選
香港対アラビ
アンガルフ；レフリー：下井真介
5月23日 韓国ソウル 日本 - 韓国定期戦
レフリー：原田隆司
6月11日～27日 スコットランド U21RW
レフリー：岩下眞一
6月6日～28日 NZ ノースハーバー
レフリー研修：レフリー：谷口和人
9月9日～13日
スリランカIBMワールドカップアジア予選
レフリー：戸田京介 J：渡辺 敏、平林泰三
10月26日～31日 香港 アジア大会
レフリー：桜岡将博・谷口和人
アセッサー：大倉浩美
12月9日～19日 中国・昆明
U19アジア大会 レフリー：原田隆司
2月11日～14日 Guam Guamズ10大会
レフリー：渡辺敏行
5. 日本協会公認レフリーの認定
日本本A ・相田真治・岩下眞一・御領園昭彦
・桜岡将博・下井真介・谷口和人
日本A1 ・小野塚隆・藤 実・石本月洋
・古賀善充・民辻竹弘・原田隆司
・岸川剛之・戸田京介・田中敦夫
・渡辺敏行・平林泰三・河野文高
6. 国内レフリー・アセッサー・レフリーコーチ派遣
日本協会主催、各種大会試合への派遣の実施
三地域協会レフリー交流派遣実施
地域・支部協会開催のレフリー研修会・講習会
への講師派遣の実施
7. 出版・広報
IBMマニュアルを日本語版に翻訳し、一部製本、
DVD化した。
トップレフリー・アセッサー・コーチへの用具
を一部支給した。

7. 国体委員会

次の事業を実施した。

- 平成16年度国体開催県の埼玉県ラグビ - 協会および県、開催市との打ち合わせ。
- 平成17年度以降開催が予定されている各県ラグビー協会との打ち合わせ。
岡山県（17年）・兵庫県（18年）
秋田県（19年）・大分県（20年）
- 国体競技会場の視察
千葉県・市原市（平成22年度開催予定）
期 日：8月30日：千葉県市原市
視察者：小畔 東（国体委員長）・岡本武勝（協会事務局長）
内 容：会場の視察および進捗状況について
- 第59回埼玉県国体組合せ抽選会
期 日：9月24日 12時：協会会議室
出席者：日本体育協会・日本ラグビー協会・埼玉県ラグビー協会・埼玉県関係者・熊谷市・岡山県（次期開催県）各関係者
議 事：成年の部および少年の部の抽選会
- 第59回埼玉国体への参加
期 日：10月24日～28日（5日間）
会 場：成年男子：埼玉県立熊谷ラグビー場
少年男子：埼玉県立熊谷ラグビー場
代表者会議 10月22日 午後3時
熊谷ラグビー場会議室
開始式 10月24日 午前9時30分
会 場 熊谷ラグビー場
表彰式 10月28日 12時30分
会 場：熊谷ラグビー場
成績・第1位 成年男子・少年男子とも埼玉県
<皇族のご臨席>
天皇・皇后両陛下が少年男子1回戦の埼玉県対岡山県の試合をご観戦されました。（ご説明役：日比野弘日本協会会長代行・真下昇専務理事）

8. 社会人委員会

次の事業を実施した。

- トップリーグを除く社会人ラグビーを普及させるための諸政策の実施
観客動員のための観戦依頼した。
関東社会人連盟と連携し普及活動を実施した。
関東社会人リーグへのレフリー調整・派遣を行った。

9. 大学委員会

次の事業を実施した

- 委員会開催
日 時：7月4日協会会議室
・本年度大学選手権、日本選手権、地区対抗大学大会
実施方法の再確認と来年度に向け問題点の検討

・地区対抗大学大会の地区予選は地域協会の判断で代表と出場決定戦を行う事が出来る事の確認した。

・大学選手権、地区対抗大学大会は一昨年の方式にて開催する事を決定した。

・東西学生対抗試合をオールスター東西学生対抗戦とする旨の審議した。

日 時：平成17年1月16日 協会会議室

・オールスター東西学生対抗戦方式の確認と今後の問題点の検討・大学指導者へのJRFUコーチ資格取得のお願いをした。

2. 大会の開催

第55回全国地区対抗大学大会

日 時 平成17年1月2日～6日

場 所 瑞穂公園ラグビー場

成 績 優 勝 武蔵工業大学

準優勝 愛知工業大学

第59回東西学生対抗（オールスターゲームズ）

日 時 平成17年1月16日 秩父宮ラグビー場

成 績 東 軍 45 - 17 西 軍

3. 観客動員のための活動

各チームへの観戦依頼等行った。

10. 高等学校委員会

次の事業を実施した。

<委員会開催>（高体連含む）

第1回常任委員会・全国委員長会議

4月10日・11日：フロラシオン青山

・平成16年度事業報告・決算報告

・平成17年度事業計画・予算案等について審議

・新規事業計画について

臨時常任委員会

5月4日・5日：福岡・グローバルアリーナ

・サニックスワールドユース交流大会の観戦

第1回高等学校委員会

10月23日：協会会議室

・新規事業計画の報告・選抜大会日程の件

・スポーツ拠点事業の件・ユース強化の件

花園ラグビー場人工芝練習場贈呈式：12月19日

・高体連ラグビー専門部より贈呈

第2回常任委員会・全国委員長会議

12月25日・26日：ホテルクライトン新大阪

・新規事業計画の報告と今後の推進

・スポーツ拠点事業の計画の承認

第2回高等学校委員会

平成17年1月9日：協会会議室

全国高体連会議 評議委員会

5月25日・平成17年3月5日

専門部長・委員長会 11月19日

<事業報告>

1. 大会関係

第5回全国選抜大会

4月1日～4月7日：熊谷ラグビー場

優 勝 天理高校（奈良県）

準優勝 深谷高校（埼玉県）

高校セブンズ大会

4月10日：江戸川陸上競技場 高校の部

カップ優勝

近畿選抜：プレート優勝 九州選抜

ボウル優勝

中国選抜：MVP 村田選手（近畿）

15人制チームを編成できない高校の選手を全国の9ブロックで選抜チームを編成。9チームによる予選リーグ、決勝リーグ戦で行った。

第59回国民体育大会

10月24日～10月29日：熊谷ラグビー場

優 勝 埼玉県・長崎県 準優勝

第84回全国高等学校大会

12月27日～平成17年1月7日：花園ラグビー場

優勝校 大阪府 啓光学園高等学校

準優勝 奈良県 天理高等学校

第28回高校東西対抗戦

平成17年1月9日：国立競技場

西 軍 45 - 22 東 軍

全国高等専門学校大会

平成17年1月4日～9日：神戸運動公園

優勝校 神戸市立工業専門学校

2. 強化指導

高校日本代表選考セレクション合宿

5月28日～31日：天理市

高校日本代表強化合宿

7月8日～11日：天理市

U17日本代表合宿：（菅平高原）

7月30日～8月2日 60名参加

3. 普及指導

第25回普及指導講習会・合同選抜チーム大会を9ブロックで実施した。

5月1日～3日 北海道

3月下旬～その他都道府県

4. 指導者研修会

第29回高校ラグビー指導者研修会の実施。

平成17年1月8日～10日 青年館・協会会議室

講演 強化：梶原宏之高校代表・U19コーチ

講演 普及指導：前田嘉昭部長

講演 安全対策：岸谷勲氏

研究発表 瀬尾一幸（神奈川）上田恭平（滋賀）

武生博幸（大分）

5. 海外交流

サニックス・ワールド・ラグビーユース交流大会

4月29日～5月5日：福岡グローバルアリーナ

優 勝 NZ・ロトルワボーイHS

準優勝 東福岡高等学校

高校日本代表 ニュージーランド遠征

7月19日～8月4日

7月25日 日本 30 - 7 ノースランド高代表
 7月28日 日本 3 - 38 ノースハーバー高代表
 8月3日 日本代表 7 - 96 NZ高校代表
 日・中・韓ジュニア競技会交流会：天理高参加
 8月22日～30日：中国・長春
 8月25日 日本 26 - 19 済州
 8月26日 日本 4 - 12 韓国
 8月27日 中国 17 - 14 韓国
 U19アジア大会
 12月9日～19日：中国・昆明
 日本 46 - 9 タイ
 日本 57 - 3 シンガポール
 日本 26 - 10 中国
 日本 10 - 28 韓国

< 検討事項 >

新規事業の継続と内容について。
 専門部ホームページの開設について。
 地区決勝放映を全都道府県で実現について。
 拠点づくり事業申請セブン、合同大会について。
 普及指導講習会と強化指導の連携について。
 合同チームが出場できる。関東、関西、九州協会
 主催及び将来は日本協会主催の全国的大会を開
 催できるよう検討する。

11. クラブ委員会

次の事業を実施した。

1. 日本クラブ委員会アピールの推進
 2003年度に宣言した「日本クラブ委員会アピール」
 は2年目に入り、その理念を具現化するため地域や
 行政と連携した施策を推進中である。
2. クラブ委員会アピール2003
 クラブラグビー10年構想
 ラグビーとりわけクラブラグビーの普及・強化が
 社会的意義あるものとするために、全国のクラブ
 チーム、選手、関係者は高い理念を持ち、以下の項
 目の実現に努力する。
 地域の人達・行政と協力し地域に根ざしたクラ
 ブづくりを目指し、地域住民、とりわけ青少年の
 社会教育・社会体育の向上に寄与する。
 ラグビーは芝生の上で行うスポーツであることをし、安全で楽しいラグビー実現のためにひと
 つでも多くの芝生のグラウンドづくりを目指す。
 クラブの大会は、選手、レフリー、役員、家族、
 友人など関係者すべてが楽しめるものとし、そ
 の実現努力する。
 ラグビーの普及・強化、安全なラグビーの確保に
 レフリーの存在はかけがえのないものである。
 すべてクラブチームは、自チームで公認レフ
 リーを養成する。
 女性、年長者もラグビーが楽しめる環境づくりに
 努力する。
 障害者のラグビーを積極的にサポートする。

以上の目標実現のため、日本、関東、関西、九州、
 都道府県それぞれのクラブ委員会は、年度別の
 目標数値を設定するとともに、毎年進捗状況を
 総括しその実現に努力する。

2. クラブ大会の開催

第42回日本選手権大会へクラブ代表を派遣
 ・ 1回戦 平成17年年2月5日・秩父宮
 ・ 対 戦 早稲田大学（大学選手権1位）
 ・ 全国クラブ大会優勝チームのタマリバクラブ
 を日本選手権クラブ枠へ選定派遣した。

第12回全国クラブ大会の主催

・ 1～2回戦：平成17年1月8日～10日：熊谷
 ・ 決勝戦 平成17年1月30日：秩父宮
 ・ 参加数 8チーム

（関東・タマリバ、曼荼羅、北海道バーバリ
 アンズ、関西・六甲、千里馬、旭硝子、九州
 /甲南、吉四六）によるトーナメント戦

- ・ 成 績 優 勝・タマリバ
 準優勝・六甲クラブ
- ・ 実施状況：単なる競技会にとどまらず、出場
 チームによるクラブカンファランスを開き、
 クラブチームが担う普及活動の実施状況、強
 化の方策を話し合う。強化とは競技力ばかり
 でなく、組織力、運営力、地域への貢献度など
 総合的な強さを指すことを再確認し、<チ
 ムからクラブへ>をテーマとして、同好会
 サークル型から真のクラブ化を旨とするクラブ
 を支援して行く。

第3回東西学生クラブ対抗試合を主催

- ・ 期 日 12月19日：花園ラグビー場
- ・ 成 績 慶應BYB 36 - 19 立命館大グラスルーツ
- ・ 実施状況：首都圏と近畿圏に多数登録されて
 いる学生クラブチームは、秋季公式戦として
 関東学生クラブ選手権大会、関西学生クラブ
 選手権大会を戦っているが、東西の覇者によ
 る学生クラブNo1を決める対抗試合を大学選
 手権1部のモチベーションの飛躍的向上に資
 する大会となっている。

全国地区対抗大学大会予選へ学生クラブを派遣

- ・ 期 日 11月27日：江戸川陸上競技場
- ・ 成 績 慶應BYB 14 - 94 武蔵工業大学
- ・ 実施状況：全国地区対抗大学大会への学生ク
 ラブの出場権は、予選を経て出場する方式に
 変更されました。このうち関東地区の予選は、
 関東学生クラブ選手権優勝チームと地区対抗
 関東1区の優勝チームとの間で代表決定戦が
 行われました。試合は初の有料試合として江
 戸川陸上競技場で開催されました。

学生クラブ東西交流フェスティバル in 菅平

- ・ 期 日 9月3日～5日
 ：菅平サニアパーク5面

- ・参加数 36チーム（関東／28、関西／8）
- ・実施状況：ゲームの実施ばかりでなく講習会を併設し、ラグビー精神やマナーの啓蒙、基礎スキルの習得などを目的とした大会とした。
- ・講習会：スキルアップ講習会（基本スキルのコーチング）、レフリー講習会（座学と実技）、女子マネージャー講習会（クラブ運営）、女子マネ・タグラグビー講習会（体験会）

3. 障害者ラグビーへの支援

- 聴覚障害者ラグビーの普及発展
- 知的障害者ラグビーの普及発展

4. 女子ラグビー

日本代表候補強化選手選抜試合

4月18日：秩父宮ラグビー場

関東選抜対関西選抜

5月9日：瑞穂ラグビー場

平成16年度年度総会

6月13日：協会会議室

菅平サマーキャンプ（一般） 7月17日・18日

レフリー講習会 7月17日・18日

ユース強化選手サマーキャンプ

7月17日・18日

日本代表強化選手サマーキャンプ

7月17日・19日

東北大会 7月18日：松尾村上寄木ラグビー場

ユース強化選手公募選考会

8月22日：辰巳の森練習場

関東大会 9月26日・10月10日・24日

：千葉・金剛高グラウンド

関西大会

9月5日：瑞穂球技場

10月24日：花園ラグビー場第2

日本代表ヨーロッパ遠征 11月3日～16日

：オランダ・アイルランド

第17回女子ラグビー交流大会 11月23日

：江戸川区陸上競技場

Japan Women's Sevens 2005

平成17年3月6日：花園ラグビー場第2

7人制女子日本代表香港遠征

香港Women's Rugby Sevens 2005

平成17年3月16日～20日：香港

その他

- ・日本代表強化選手合同練習月に1度辰巳の森練習場および関西で練習した。
- ・ユース強化選手練習会月に1度辰巳の森練習場で練習した。

12. 強化委員会

次の事業を実施した。

1. 合宿

- ・3月12日～14日
セブンズ日本代表候補合宿（千葉）

- ・3月20日～22日
セブンズ日本代表候補合宿（府中）
- ・5月11日～14日
日本代表 韓国戦合宿（東京）
- ・5月21日～25日 日本代表スコット合宿
- ・5月5日～7日 日本代表A 合宿（台南）
- ・6月3日～9日
日本代表スコット合宿（福島）
- ・7月9日～12日
セブンズセレクション合宿（東京）
- ・11月3日～7日
日本代表欧州遠征合宿（福島）

2. 試合・遠征

- ・4月18日～5月2日 日本A代表 NZ遠征
- ・3月27日～4月12日 U-19世界選手権
- ・3月7日～28日 セブンズ日本代表 香港大会
- ・4月3日～4日
セブンズ日本代表シンガポール大会
- ・5月9日 日本代表A 対 中華台北戦（台南）
- ・5月16日 日本代表 対 韓国戦（秩父宮）
- ・6月30日 日本選抜 対 イタリア戦（長居）
- ・7月4日 日本 対 イタリア戦（秩父宮）
- ・9月10日～12日 セブンズ予選（スリランカ）
- ・10月28日
アジアラグビー大会 対 香港
- ・10月31日
アジアラグビー大会 対 韓国
- ・11月13日
対 スコットランド
- ・11月20日
対 ルーマニア
- ・11月26日
対 ウェールズ
- ・12月11日～18日
U-19アジア大会（中国昆明）
- ・平成17年3月18日～20日
セブンズW杯（香港）

3. その他

- ・メディカルチェック・分析サポートの実施した。
- ・代表候補選手に対する期間契約の締結。

13. 普及育成委員会

次の事業を実施した。

<総務関係>

組織改革 三地域協会に普及育成委員会より推薦による構成メンバーを選定基準として設け、各カテゴリー毎の専従者と地域協会とのコンセンサスを図った。

申請書システム導入

47都道府県 三地域協会 日本協会にて「申請書」による一括管理システムの導入と実施。

Web利用「タグ用具貸出」開始

平成16年10月より標記貸出システムを日本協会ホームページよりの「申込紙」システムに切り替え、現状管理と三協会 管理システムを構築。これにより貸出状況集計等の業績集計を図った。

< プロモーション関係 >

初めてラグビー教室

関東地区

開催回数 4回
参加児童 611名
場 所 秩父宮ラグビー場
辰巳の森グランド

初めてラグビー教室

関西地区

開催回数 3回
参加児童 302名
場 所 花園ラグビー場
初めてラグビー教室

九州地区

開催回数 5回
参加児童 1501名
場 所 佐世保・鹿児島・福岡

< 中学生関係 >

第10回全国ジュニアラグビー大会
日 時 平成17年1月4・5・6日
場 所 花園ラグビー場
参加者 384名
三地域ジャンボリー開催

・第6回東日本菅平ジャンボリー大会

日 時 7月29～8月1日
場 所 菅平
参加者 1500名

・関西中学生ジャンボリー大会

日 時 7月30日～8月1日
場 所 数河
参加者 260名

・九州ジュニアラグビー宮崎大会

日 時 平成17年3月20・21日
場 所 宮崎
参加者 500名

三地域ジュニア・ブロック大会開催

【関東地区】

・第25回東北中学生交流大会

日 時 8月14日・15日
場 所 女川町
参加者 480名

・第23回東日本中学生大会

日 時 7月30日～8月1日
場 所 秩父宮・調布
参加者 120名

・第2回東日本U・14歳・15歳交流大会

日 時 平成17年3月19日・20日
場 所 水戸

参加者 450名

【関西地区】

・第6回近畿大会

日 時 11月3日
場 所 奈良
参加者 220名

・近畿スクール新人大会

日 時 平成17年3月27日
参加者 250名

・近畿ブロック講習会

日 時 平成17年3月26日
場 所 天理
参加者 250名

【九州地区】

・第5回九州ブロック大会

日 時 10月10日・11日
場 所 熊本
参加者 216名

(講習会・研修会)

・第3回北海道ミニ・ジュニア指導者研修

日 時 10月2日・3日
場 所 函館
参加者 14名

・東北地区指導者講習会

日 時 2月26日・27日
場 所 気仙沼
参加者 52名

・第1回長崎タグラグビー指導者会

日 時 9月18日
場 所 長崎

・九州地区インストラクター会議

日 時 10月9日～11日
場 所 熊本
参加者 14名

< 小学生関係 >

ミニ・ラグビー活動

【関東地区】

・第4回東北小学校交流大会

日 時 10月9日・10日
場 所 青森
参加者 270名

・小平ラグビーフェスティバル

日 時 12月12日
参加者 100名参加
場 所 辰巳の森ラグビーフェスティバル

(東京：小平)

・関東ミニ・ラグビー指導者研修会

日 時 平成17年2月26日・27日
場 所 東松山
参加者 151名参加

【関西地区】

・ミニ・ラグビーフェスティバル・イン美作

- 日 時 11月3日
場 所 美作
参加者 360名
- ・初めてラグビー教室IN花園
日 時 平成17年1月23日
場 所 大阪
参加者 100名
 - ・初めてラグビー教室IN神戸
日 時 12月4日
場 所 神戸
参加者 100名
 - ・ラグビースクール西中国交流試合
日 時 11月23日
場 所 山口
参加者 40名
 - ・近畿ブロック6年生卒業交流大会
日 時 平成17年3月21日
場 所 大阪
参加者 800名
- 【九州地区】
- ・ミニ・タグ担当者研修会
日 時 4月24日
場 所 福岡
参加者 22名
 - ・初めてラグビー教室IN久留米
日 時 6月13日
場 所 福岡
参加者 100名
 - ・第4回大分・宮崎ブロック交流大会
日 時 7月23日～25日
場 所 大分
参加者 230名
 - ・第31回少年ラグビー交換会
日 時 8月20日～22日
場 所 熊本
参加者 570名
 - ・ミニ・ラグビーインストラクター研修会
日 時 8月20日～22日
場 所 熊本
参加者 40名
 - ・第5回西九州ミニ・ラグビー交流大会
日 時 9月19日
場 所 熊本
参加者 800名
 - ・第2回初めてラグビー教室IN佐世保
日 時 11月21日
場 所 長崎
参加者 200名
 - ・ミニ・ラグビー指導者講習会
日 時 10月16日・23日・30日
場 所 福岡
参加者 801名
- ・南九州ミニ・ラグビー大会鹿島
日 時 12月5日
場 所 鹿島
参加者 200名
 - ・ミニ小委員会
日 時 平成17年1月15日
場 所 熊本
参加者 8名
 - ・第9回八代ラグビーフェスティバル
日 時 平成17年3月21日
場 所 熊本
参加者 470名
- <総務ワーキング・グループ>
- ・三地域協会にラグビースクール誘致ポスターの配布 三地域協会各500枚
 - ・三地域協会にタグ・ラグビーガイドブックの配布 三地域協会各2500枚
- <タグ・ラグビー関係>
- 【日本協会】
- ・初めてのタグ・ラグビーDVD作成
 - ・インストラクターのモチベーション向上ためTシャツ作成・配布
 - ・地域イベントへのタグ・ラグビー用具の提供
 - ・第1回全国小学生タグ・ラグビー選手権大会へのタグ・ラグビー用具提供
 - ・タグ・ラグビーガイドブック「みんなでトライ」の製作
 - ・日本協会ホームページでの「タグ用具貸出」設定
 - ・各イベント参加者への「ランドリーバック」配布 参加者の増大のため
- 【関東地区】
- ・初めてラグビー教室
日 時 平成17年2月6日
場 所 秩父宮
参加者 100名
 - ・第2回タグ・フェスタ気仙沼
日 時 平成17年2月27日
場 所 気仙沼
参加者 150名
 - ・タグ・フェスタIN多摩
日 時 平成17年3月6日
場 所 西東京
参加者 150名
- 【関西地区】
- ・初めてラグビー教室IN
日 時 平成17年1月30日
場 所 花園
参加者 100名
 - ・四国ブロックタグ・ラグビー研修会
日 時 平成17年1月29日
場 所 静岡
参加者 13名

- ・近畿タグ・フェスタ
日 時 平成17年3月27日
場 所 天理
参加者 100名
- ・近畿タグ研修会
日 時 平成17年3月27日
場 所 天理
参加者 30名
- 【九州地区】
- ・佐世保タグラグビーフェスティバル
日 時 5月23日
場 所 長崎
参加者 1000名
- ・初めてラグビー教室
日 時 5月16日
場 所 鹿児島
参加者 300名
- ・タグ・ラグビー実技指導者講習会
日 時 6月12日
場 所 宮崎
参加者 100名
- ・沖縄県タグ・ラグビー指導者講習会
日 時 7月3日
場 所 沖縄
参加者 20名
- ・タグ・ラグビー指導者講習会
日 時 7月3日
場 所 大分
参加者 50名
- ・タグ・ラグビー指導者講習会
日 時 7月23日
場 所 佐賀
参加者 20名
- ・タグ・フェスタIN宮崎
日 時 8月7日
場 所 宮崎
参加者 300名
- ・タグ委員会
日 時 9月18日
場 所 長崎
参加者 20名
- ・タグ・フェスタIN熊本
日 時 10月11日
場 所 熊本
参加者 150名
- ・タグ・フェスタIN佐賀
日 時 10月11日
場 所 佐賀
参加者 150名
- ・第1回タグ・ラグビーフェスティバル
日 時 10月30日
場 所 北九州
- 参加者 130名
- ・タグ・ラグビーIN沖縄
日 時 10月24日
場 所 沖縄
参加者 22名
- ・第5回ミニ・ラグビー交流INN鹿児島
日 時 10月31日
場 所 鹿児島
参加者 300名
- ・タグ小委員会
日 時 1月16日
場 所 熊本
参加者 13名
- ・初めてラグビー教室IN宮崎
日 時 12月12日
場 所 宮崎
参加者 130名
- ・第3回タグ・フェスタIN大分
日 時 11月21日
場 所 大分
参加者 50名
- ・タグ・ラグビーフェスタIN鹿児島
日 時 平成17年2月26日
場 所 鹿児島
参加者 300名
- ・タグ・ラグビー指導者講習会
日 時 平成17年2月12日
場 所 鹿児島
参加者 150名
- <タグ・ラグビー用具貸出>
- ・FAX受付(4月~9月)

関東協会地区	20件	1010名分
関西協会地区	7件	470名分
九州協会地区	1件	40名分

- ・ホームページ受付(10月~平成17年3月)

関東協会地区	48件	2293名分
関西協会地区	27件	1345名分
九州協会地区	15件	710名分

年間貸出	118件	5868名分
前年貸出	63件	3620名分
前年貸出	55件増	1520名分増
	87%増	62%増

- ・タグ・ラグビー用具セットの配布

地域協会へ用具セット	5セット(200名分)
都道府県協会へ用具	1セット(40名分)

共に11月配布

14. コーチ委員会

次の事業を実施した。
従来の取り組みをベースとするコーチ養成と積極的活用を進める一方で、世界をスタンダードにした指

導者の養成、強化体制を支える質の高い指導者の養成を図るために、関係組織と連携し、新資格制度の導入およびJRFUコーチ資格の義務化に向けた具体的検討を一年間を通じて行った。

1. 指導者養成

競技別講師養成講習会

[前期]

期日：6月12日～13日

会場：ジャパンクラブ

[後期]

期日：平成17年2月26日～27日

会場：流通経済大学新松戸キャンパス

競技力向上スポーツ指導者C級講習会

(IRBレベル 資格プログラム含む)

期日：7月28日～8月2日

会場：菅平高原

スタートコーチ養成講習会

全国各地にて実施

2. 指導者養成

トップチームゲーム会議

期日：7月3日～4日 協会会議室

トップリーグコーチ研修会兼IRBコーチ資格養成講習会

期日：4月16日～18日 協会会議室

期日：11月5日～7日

会場：ラグビー協会大会議室・ジャパンクラブ

期日：平成17年3月19日 協会会議室

三地域トップチームゲーム会議

関東・関西・九州にて実施

3. コーチング研究・出版関連

コーチング指針増刷

IRBコーチングマニュアル翻訳製本

セブンスマニュアル作成

4. 委員会ほか

上記講習・研修会開催に関する小委員会

新資格制度導入・JRFUコーチ資格義務化のための各種検討委員会

平成17年度事業に向けた準備委員会

コーチ委員会担当別ミーティング

15. 医・科学委員会

次の事業を実施した。

医・科学委員会総会（平成17年3月26日～27日）

1. 「強化の基盤」を基本テーマとしての研修講演会

日本の強化：ゴールドプラン（河野一郎）

日本代表選考とフランス人コーチ招聘（勝田隆）

イングランドプレミアクラブ：レスターの強化体制（佐々木康）

新指導者資格制度（上野裕一）

2. 各部門活動報告

医事部門：強化におけるメディカルサポート（古谷正博）

トレーナー部門：活動状況（石山修盟）

アンチ・ドーピング部門：年次報告（蓮沼隆）

科学・情報部門：研究報告の概要（斉藤武利）

また、各部門は事業活動を行うにあたり関連団体（日本協、JOC、JISS、JADAおよびTOTO等）と積極的な連携強化を図った。

<医事部門>

三地域連絡協議会：日本協会主催試合の医師責任賠償保険やマッチドクターとチームドクターとの役割分担に関する検討、トップリーグに準じた医務活動の普及の検討を中心に各都道府県における医務活動の支援を行った。

日本協会主催主要試合の医務担当について各地域協会と連携し全対象試合で実施した。

各日本代表チームメディカル担当として代表選手のメディカルチェックを始め、海外遠征帯同（欧州遠征、U19南ア遠征、高校代表NZ遠征等遠征、強化合宿等14回）等に帯同医師を延べ23名派遣した。

機関誌メディカルコーナーに「NZRFUラグビースマート（和訳）」および「サプリメントの摂り方」を執筆した。

<トレーナー部門>

日本ラグビー界におけるトレーナーのスタンダード化を図るとともに人材の育成を行うことを目的に期中に部門を設置した。

日本代表チームのトレーナー担当として欧州遠征を始め、海外遠征・強化合宿等に延べ205名派遣した。

16. 安全対策委員会

次の事業を実施した。

1. 啓発活動＝外傷・傷害の撲滅を目指し、啓発活動の継続実施 <具体的事項>重症傷害防止啓発ポスターの作成・各合宿地への掲示

2. 調査・検討＝昭和64年からの重症傷害データの継続・集計及び各合宿地の医療体制の調査した。

3. 日本協会理事会へ発生都度重症事故の報告した。

<具体的事項>

・北見・菅平・数河・湯布院等の合宿地における救急体制の把握した。

・重症傷害データを日本協会管理へ移管した。

・重症傷害報告書1ヶ月後経過報告書等の提出体制の組織強化を図った。

・重症傷害定義の内容再検討した。

・重症障害者に関するアフターケアの方向性模索

・メディカルサポーター＝育成・管理の充実・チームトレーナーをはじめとする有資格者の充実に図った。

<具体的事項>

・メディカルサポーター管理に関する認定書・手帳腕章（ビブス）等の補充・検討

- ・各都道府県における講習会の内容把握アンケートの実施した。
- 4. 全国安全対策委員長会議 = 日本協会としての安全対策に対する方向性・通達事項・各都道府県単位の安全対策講習会向け伝達資料等を各都道府県安全対策委員長を招集し徹底を図った

< 具体的事項 >

三地域(東京・大阪・福岡地区)へ講師派遣での会議実施し徹底を図った

- ・連携 = 医・科学委員会・ルール委員会との連携の一層の強化による外傷・傷害の減少

17. 事業委員会

次の事業を実施した。

1. 主催大会の開催・運営
大会方式の変更
 - ・全国大学選手 12チーム・トーナメント方式
平成17年1月2日 準決勝 国立競技場
平成17年1月8日 決勝 国立競技場
 - ・日本選手権 12チーム・トーナメント方式
4日間開催(平成17年2月27日決勝)
秩父宮ラグビー場・花園ラグビーで開催
観客動員のためのチケットセールス活動
メンバーズへの先行販売「ローソン」へのポスター掲載依頼・トップチームへの買取依頼・各試合で試合日程表の配布・ホームページでの試合告知
年間シート席の企画・販売(秩父宮・花園)
協同主催者との調整
メンバーズ会員向け商品企画と販売
メンバーズ会員拡大策の展開 NEC共同展開
試合運営を円滑に進めるための諸施策の実施
大会・試合ごとに収支管理の徹底
所轄官庁(警察・消防)への開催申請
観客動員策の検討・実施
新聞告知・スクール動員・試合前イベント開催
2. ジャパントップ・リーグ
 - ・トヨタ自動車・日本IBMが昇格(サニックス・セコム降格) リーグ戦は全国各地で66試合・優勝は東芝府中・
 - ・8トーナメント・7試合
東芝府中が優勝、トップリーグとの2冠達成

< 実施事項 >

- 日程・開催地の調整・決定・答申
- 観客動員の検討・依頼
- 主管地域協会・開催地協会との連携強化と各目標値の設定(収支・観客動員・普及事業等)
- 規約・大会要項等の見直し
- 参加チーム主務・広報との定期的会議の開催
- トップチーム指導者へのコーチ資格講習会の実施

< 会議開催 >

- ・5月18日 チーム主務連絡会議

- ・5月18日 チーム広報・PR会議
- ・7月15日 チーム主務連絡会議
- ・6月21日 チーム広報・PR会議
- ・7月26日 チーム主務連絡会議
- ・8月30日 チーム広報・PR会議
- ・11月25日 チーム運営会議(大阪)
- ・11月26日 チーム運営会議(東京)

18. マーケティング委員会

次の事業を実施した。

- 企業別マーケティング計画の策定・活動展開
- 横幕および電光掲示板下段の協賛企業獲得のためのマーケティング活動
- 各新聞社協賛依頼活動の実施
- 各種プログラム広告の依頼の実施

19. W杯招致委員会(特別委員会)

次の事業を実施した。

- 2011年ワールドカップ日本開催を実現するための基本戦略書の作成
- WC2011開催国立候補の意志表明(9月)
- 政界・財界・地方自治体との連携の強化活動の展開
- 定期的な委員会の開催

(招致委員会・招致実行委員会)

- W杯招致活動のロゴマークの発表
- 申請書(テンダードキュメント)の日本到着翻訳(12月)
- ・各担当者の決定
- ・開催予定会場・大会日程・収支・交通手段・財務・政府支援・警備・メディア等々
- 開催国立候補の最終意志表明(平成17年11月31日)
- 招致ビデオの作成・活用
- ロビイング活動展開
- ・ボブ・タッキー氏来日(IRB副会長)(平成17年11月21日)
- ・シドー・ミラー氏来日(IRB会長)(平成17年2月18日)
- ・W杯日本招致香港ファンクション(平成17年3月18日)
- 国会ラグビークラブ総会でのW杯招致の現況説明(平成17年2月17日)
- スポーツ議員連盟総会での招致のW杯招の現況説明(平成17年2月25日)
- 国会議員署名活動展開
- 申請書の作成・完了 各種(平成17年3月末)
- W杯協賛企業の獲得活動
- 各全国大会出場チームへの招致ワッペンのジャージ等への取り付け依頼
- 招致ポスター・パッチ・ポストカードの作成、配布・販売

各種会議開催状況・その他

平成16年

4月 2日(金) 日本代表強化会議(強化部屋)	3名	5月24日(月) 第8回W杯招致準備委員会 (ジャバクラブ)	17名
4月 3日(土) 強化メディカル会議(ジャバクラブ)	5名	5月26日(水) 東芝スーパーパワーズカップ プレマッチミーティング(2F会議室)	
4月 3日(土) 強化委員会(強化部屋)	5名	5月29日(土) コーチ委員会(ジャバクラブ)	10名
4月 5日(月) JAPANセブンス2004 高校の部実行委員会(ジャバクラブ)	9名	5月30日(日) 強化基盤会議(強化部屋)	9名
4月 5日(月) レフリー総務会(ジャバクラブ)	6名	6月 1日(火) レフリー委員会 総務委員会 (ジャバクラブ)	7名
4月11日(日) 日本代表に関する打合せ	11名	6月 2日(水) 広報委員会(ジャバクラブ)	30名
4月14日(水) 第5回W杯招致準備委員会 (ジャバクラブ)	19名	6月 4日(金) 第14回理事会 (ジャバクラブ・2F会議室)	22名
4月14日(水) リエゾン会議	14名	6月 5日(土) 普及育成委員会(ジャバクラブ)	10名
4月16日(金) コーチ委員会 (ジャバクラブ・2F会議室)	50名	6月 6日(日) 財務委員会(ジャバクラブ)	
4月16日(金) 強化スタッフコーチングスキルアップ研修会議 (2F会議室)	17名	6月 6日(日) コーチ委員会(日本協会事務局)	5名
4月17日(土) 第12回理事会(日本青年館)	19名	6月12日(土) ルール委員会(日本協会事務局)	13名
4月17日(土) 強化委員会 セブンススタッフミーティング	4名	6月12日(土) 強化・医科学サポート会議(2F会議室)	30名
4月22日(木) 執行理事会(ジャバクラブ)	22名	6月12日(土) 医科学委員会(強化部屋)	8名
4月23日(金) 日本代表フィットネス打合せ(強化部屋)	2名	6月12日(土) コーチ委員会 競技講師養成講習会 (ジャバクラブ)	50名
4月24日(土) レフリー委員会 総務会 (ジャバクラブ)	6名	6月14日(月) 会長連絡会議	6名
4月24日(土) 強化委員会 U19・高校日本代表候補 選考会議(ジャバクラブ)	10名	6月14日(月) 第2回興基金準備委員会(仮称)	20名
4月25日(日) 財務委員会(ジャバクラブ)	18名	6月18日(金) 第9回W杯招致準備委員会 (ジャバクラブ)	19名
4月28日(水) 8強進出会議(ジャバクラブ)	10名	6月19日(土) 平成16年度第1回評議員会 (ジャバクラブ)	30名
4月29日(木) 事業委員会 トップチーム オリエンテーション会議(ジャバクラブ)	20名	6月20日(日) 安全対策委員会(ジャバクラブ)	10名
5月 7日(金) 日本代表コーチ打合せ(強化部屋)	3名	6月21日(月) ジャバントップリーグ第2回チームマネジャー・ 広報会議(大阪・関西協会手配会場)	25名
5月 8日(土) ルール委員会(ジャバクラブ)	12名	6月23日(水) マーケティング委員会(ジャバクラブ)	7名
5月 9日(日) レフリー委員会	31名	6月23日(水) 広報委員会 機関誌編集会議 (ジャバクラブ)	7名
5月 9日(日) 強化委員会 メディカル部門 (ジャバクラブ)	6名	6月24日(木) W杯招致委員会 IRBとの電話会議 (ジャバクラブ)	5名
5月 9日(日) 第2回トップチーム監督会議 (ジャバクラブ)	20名	6月26日(日) ルール委員会	12名
5月10日(月) 第7回W杯招致準備委員会 (ジャバクラブ)	17名	6月26日(土) 強化委員会 コア会議(強化部屋)	7名
5月10日(月) 7人制打合せ(ジャバクラブ)	5名	7月 2日(金) リスクマネジメント担当会議 (ジャバクラブ)	7名
5月13日(木) マーケティング委員会(ジャバクラブ)	8名	7月 2日(金) レフリー委員会(ジャバクラブ)	25名
5月13日(木) 医科学委員会(ジャバクラブ)	5名	7月 3日(土) ~4日(日) 強化委員会テクニカル会議 (ホテルプレジデント・強化部屋)	9名
5月15日(土) 日韓戦 プレマッチミーティング (ジャバクラブ)	20名	7月 3日(土) 事業委員会 トップリーグメディカルコントロ ール部会(ジャバクラブ)	30名
5月16日(日) 強化委員会 総務会議(強化部屋)	6名	7月 3日(土) トップチームゲーム会議	12名
5月17日(月) 第13回理事会(ジャバクラブ)	20名	7月 3日(土) コーチ委員会 競技別講師養成講習会 (2F会議室)	57名
5月18日(火) 事業委員会 トップリーグ記者会見・県協会説 明会(ジャバクラブ・2F会議室)	44名	7月 4日(日) 監査委員会(ジャバクラブ)	9名
5月21日(金) ジャバクラブピークトップリーグコミティー小会議 (ジャバクラブ)	4名	7月 4日(日) 大学委員会(ジャバクラブ)	12名
5月22日(土) 高校委員会 U17セレクション会議 (ジャバクラブ)	11名	7月 7日(水) ユースコーチ及びU19・U17セレクション会議 (ジャバクラブ)	11名
5月22日(土) 高校委員会・強化委員会合同U17選考会議 (ジャバクラブ)	12名	7月 8日(木) 執行理事会(ジャバクラブ)	21名
5月22日(土) コーチ委員会	4名	7月 8日(木) トップリーグコミティー定例会議 (強化部屋)	6名
		7月 9日(金) 監査委員会 リスクマネジメント (ジャバクラブ)	7名
		7月10日(土) レフリー委員会(ジャバクラブ)	4名

7月10日(土) 高校選抜大会反省会及び第1回準備会 (ジャバンクラブ)	20名	10月15日(金) 理事会(ジャバンクラブ)	20名
7月11日(日) 財務委員会(ジャバンクラブ)	12名	10月16日(土) 財務委員会(ジャバンクラブ)	13名
7月11日(日) 8強会議(ジャバンクラブ)	10名	10月17日(日) 医科学委員会 アンチ・ドーピング担当部門	13名
7月11日(日) レフリー委員会(ジャバンクラブ)	6名	10月18日(月) 第1回2011ラグビーワールドカップ日本招致実行委員会(赤坂プリンスホテル「紅花」)	35名
7月15日(木) 日本代表スタッフ反省会(ジャバンクラブ)	6名	10月18日(月) 第4回W杯招致実行委員会 (赤坂プリンスホテル「紅葉の間」)	14名
7月15日(木) 広報委員会(ジャバンクラブ)	30名	10月20日(水) 執行理事会(ジャバンクラブ)	25名
7月15日(木) トップリーグチーム連絡会(2F会議室)	20名	10月20日(水) 広報委員会(ジャバンクラブ)	20名
7月16日(金) 理事会(ジャバンクラブ)	20名	10月21日(木) 会長意見交換会(ジャバンクラブ)	7名
7月17日(土) 普及育成委員会 ジュニア (ジャバンクラブ)	11名	10月21日(木) レフリー総務委員会(ジャバンクラブ)	7名
7月17日(土) 安全対策委員会(ジャバンクラブ)	20名	10月23日(土) 高等学校委員会(2F会議室)	25名
7月21日(水) 第10回W杯招致準備委員会 (ジャバンクラブ)	20名	10月24日(日) アジア大会壮行会 日本選抜 (ジャバンクラブ)	32名
7月22日(木) 医科学委員会 科学情報部門第1回会議	4名	10月31日(日) 強化委員会 強化会議(ジャバンクラブ)	8名
7月22日(木) トップリーグコミティー会議 (ジャバンクラブ)	6名	11月 4日(木) 第5回W杯招致実行委員会 (ジャバンクラブ)	14名
7月24日(土) 強化委員会 コア会議	14名	11月 5日(金)~ 7日(日) コーチ委員会 トップコーチ兼レベル コーチ 資格養成講習会(2F会議室)	40名
7月24日(土) 財務委員会(ジャバンクラブ)	15名	11月 5日(金) 第5回理事会(ジャバンクラブ)	19名
7月25日(日) レフリー委員会(ジャバンクラブ)	23名	11月 6日(土) 高等学校委員会(ジャバンクラブ)	10名
8月20日(金) 平成16年度第2回理事会 (ジャバンクラブ)	20名	11月12日(金) トップリーグコミティー アドバイザー会議 (ジャバンクラブ)	6名
8月23日(月) コンプライアンス会議(ジャバンクラブ)	7名	11月13日(土) レフリー委員会(ジャバンクラブ)	25名
8月30日(月) 第4回トップリーグチーム広報・マネジャー会議 (2F会議室)	30名	11月13日(土) 医科学委員会 医事担当部門 (日本協会事務局)	6名
8月31日(火) レフリー委員会 総務会 (ジャバンクラブ)	5名	11月13日(土) 財務委員会(ジャバンクラブ)	15名
9月 2日(木) 第1回W招致実行委員会(2F会議室)	8名	11月14日(日) レフリー委員会(ジャバンクラブ)	27名
9月 3日(金) レフリー委員会(ジャバンクラブ)	22名	11月18日(木) 広報委員会(ジャバンクラブ)	20名
9月 4日(土) 強化委員会 コース総務会議 (ジャバンクラブ)	5名	11月19日(金) コーチ委員会(ジャバンクラブ)	10名
9月 5日(日) 英国遠征メンバーセレクション (強化部屋)	4名	11月21日(日) レフリー運営委員会(ジャバンクラブ)	13名
9月 5日(日) 重傷事故対策検討委員会(2F会議室)	3名	11月22日(月) U19アジア大会スタッフミーティング (強化部屋)	4名
9月11日(土) 財務委員会(ジャバンクラブ)	15名	11月25日(木) トップリーグコミティー チームマネジャー会議 (関西協会事務局)	9名
9月13日(月) マーケティング委員会(ジャバンクラブ)	8名	11月26日(金) トップリーグコミティー チームマネジャー会議 (ジャバンクラブ)	12名
9月15日(土) コーチ委員会 競技別講師養成講習会	5名	12月 2日(木) レフリー総務会(ジャバンクラブ)	7名
9月16日(日) 広報委員会(ジャバンクラブ)	30名	12月 3日(金) 医科学委員会 科学情報部門第2回会議	4名
9月17日(金) W杯招致実行委員会(ジャバンクラブ)	10名	12月 3日(金) 第6回W杯招致実行委員会 (ジャバンクラブ)	18名
9月21日(火) レフリー委員会 総務会 (ジャバンクラブ)	7名	12月 5日(日) ルール委員会(日本協会事務局)	13名
9月22日(水) 第3回理事会(ジャバンクラブ)	20名	12月 5日(日) 安全対策委員会(ジャバンクラブ)	10名
9月23日(木) 強化委員会 コア会議(ジャバンクラブ)	16名	12月 5日(日) 強化委員会 遠征反省会(強化部屋)	6名
9月23日(木) 普及委員会ならびにコーチ委員会合同会議 (ジャバンクラブ)	7名	12月 6日(月) 8強進出会議(ジャバンクラブ)	11名
9月24日(金) 国体委員会(2F会議室)	10名	12月 6日(月) 事業委員会 小会議(ジャバンクラブ)	8名
9月26日(日) 強化委員会 コア会議(ジャバンクラブ)	11名	12月 9日(木) レフリー委員会(ジャバンクラブ)	20名
9月29日(水) ジャバンラグビー・トップリーグ トップリーグコミティー会議(強化部屋)	6名	12月10日(金) 高等学校委員会(ジャバンクラブ)	10名
10月 1日(金) 日本代表スタッフミーティング(強化部屋)	5名	12月10日(金) コーチ委員会(2F会議室)	10名
10月 4日(月) 杯実行委員会 小委員会 (ジャバンクラブ)	13名	12月10日(金) 事業委員会(ジャバンクラブ)	8名
10月 5日(火) 第3回W杯招致実行委員会 (ジャバンクラブ)	13名	12月11日(土) サッカー協会審判委員会との合同研修会 (ジャバンクラブ)	18名
10月 6日(水) 強化委員会(強化部屋)	2名	12月12日(日) 財務委員会(ジャバンクラブ)	15名

12月13日(月) 事業委員会(2F 会議室)	50名	2月17日(木) 広報委員会(ジャパソクラブ)	20名
12月14日(火) リスク小委員会(日本協会事務局)	6名	2月18日(金) 強化委員会	
12月15日(水) 広報委員会(ジャパソクラブ)	15名	戦略マニフェスト作成作業	6名
12月16日(木) 第6回理事会(ジャパソクラブ)	20名	2月18日(金) 強化委員会 広報会議	8名
12月19日(日)~ 20日(月)		2月23日(水) 第8回理事会(ジャパソクラブ)	19名
強化委員会(強化部屋)	16名	2月26日(土) 全国高校選抜大会第2回実行委員会	
12月20日(月) 第7回W杯招致実行委員会		(ジャパソクラブ)	22名
(ジャパソクラブ)	23名	2月26日(土) レフリー委員会(2F会議室)	19名
12月25日(土) 合同小委員会(強化部屋)	7名	2月26日(土) コーチ委員会 スタートコーチトレーナー	
12月26日(日) 会長連絡会(ザ・リッカ・カールトン大阪)	5名	講習会(流通経済大学新松戸校舎)	49名
		2月26日(土) 会長連絡会(富徳)	6名
平成17年		2月27日(日) 強化委員会 日本B代表・学生代表セレクシ	
1月 7日(金) レフリー委員会 総務委員会		ョン会議(強化部屋)	5名
(ジャパソクラブ)	9名	2月27日(日) 社会人委員会(日本協会事務局)	9名
1月 8日(土)~ 9日(日)		2月28日(月) 強化委員会 U17トレン将来構想	
高等学校委員会		(ジャパソクラブ)	13名
第29回高校指導者研修会(2F会議室)	36名	3月 3日(木) 第11回W杯招致実行委員会	
1月 9日(日) 強化委員会 ディレクター会議		(2F会議室)	34名
(ジャパソクラブ)	15名	3月 4日(金) 日本代表セレクション会議	6名
1月 9日(日) 強化小委員会	7名	3月 5日(土)~ 6日(日)	
1月 9日(日) 事業小委員会(国立競技場)	3名	レフリー委員会(ジャパソクラブ)	28名
1月 9日(日) 日本A代表・B代表に関する打合せ		3月 5日(土) 強化委員会	
(強化部屋)	7名	メディカルフィットネス 打ち合わせ	7名
1月 9日(日) 高等学校委員会(2F会議室)	25名	3月 5日(土) 普及育成委員会(2F会議室)	14名
1月 9日(日) コーチ委員会(日本協会事務局)	4名	3月 5日(土) 執行理事会(ジャパソクラブ)	
1月13日(木) 事業委員会 マイクロソフトカップ代表者会議		3月 5日(土) 普及育成委員会(日本協会事務局)	6名
(ジャパソクラブ)	25名	3月 6日(日) 強化委員会 ユーススケジュール会議	
1月17日(月) 第8回W杯招致実行委員会		(ジャパソクラブ)	13名
(ジャパソクラブ)	23名	3月 9日(水) 総務委員会(ジャパソクラブ)	5名
1月20日(木) 広報委員会(ジャパソクラブ)	20名	3月 9日(水) W杯招致実行委員会(ジャパソクラブ)	8名
1月21日(金) 第7回理事会(ジャパソクラブ)	19名	3月10日(木) 強化委員会テクニカルスタッフミーティング	
1月21日(金) 高等学校委員会(2F会議室)	11名	(強化部屋)	3名
1月22日(土) 財務委員会(ジャパソクラブ)	12名	3月10日(木) 第10回理事会(ジャパソクラブ)	19名
1月23日(日) 強化委員会 ディレクター会議		3月13日(日) 財務委員会(ジャパソクラブ)	16名
(ジャパソクラブ)	17名	3月14日(日) 広報・事務局会議(ジャパソクラブ)	11名
1月28日(金) コーチ委員会(日本協会事務局)	6名	3月17日(木) 広報委員会	18名
1月31日(月) 第9回W杯招致実行委員会		3月19日(土) コーチ委員会 トップコーチ資格養成講習会	
(ジャパソクラブ)	23名	(ジャパソクラブ)	40名
2月 2日(火) 強化委員会(強化部屋)	6名	3月19日(土) レフリー委員会(ハートイン乃木坂)	26名
2月 3日(水) 強化委員会 広報部門(強化部屋)	5名	3月21日(月) 高校選抜大会 組み合わせ抽選会	39名
2月 4日(金) 第2回2011ラグビーワールドカップ		3月23日(水) 第11回理事会(ジャパソクラブ)	19名
日本招致委員会(ジャパソクラブ)	35名	3月26日(土)~ 27日(日)	
2月 5日(土)~ 6日(日)		医科学委員会	
レフリー委員会 総務・三地域委員長合		(ジャパソクラブ・2F会議室)	39名
同会議(日本協会事務局)	8名	3月27日(日) 平成16年度第2回評議員会	
2月 5日(土) 強化委員会 U17プロクトレゼ		(ジャパソクラブ・2F会議室)	35名
(強化部屋)	13名	3月27日(日) コーチ委員会 トップコーチ資格養成講習会	
2月 5日(土) 普及育成委員会(2F会議室)	11名	(ホテルプレシデント青山)	18名
2月10日(水) 日本代表テクニカル会議(強化部屋)	3名	3月27日(日) クラブ委員会(国立 小会議室)	13名
2月12日(土) 財務委員会(日本協会事務局)	8名		
2月12日(土) 強化委員会 チーム総務ミーティング	8名		
2月12日(土) 強化委員会			
JAPAN戦略・セレクション会議	11名		
2月14日(月) 第10回W杯招致実行委員会			
(ジャパソクラブ)	27名		
2月14日(月) 事業委員会 小会議(ジャパソクラブ)	5名		